

WHO ファクトシート

マイコトキシン

Mycotoxins

2018年5月9日

重要な事実

- ・マイコトキシンは、特定のカビ(真菌)によって産出される天然の毒素であり、食物中に見出されることがある。
- ・この種のカビは、穀物、ナッツ、香辛料、ドライフルーツ、リンゴやコーヒー豆などの様々な農産物や食料品の表面で、しばしば温かく湿った条件下で育つ。
- ・マイコトキシンは、様々な健康への悪影響を起し、人間にも家畜にも重大な健康脅威となることがある。
- ・マイコトキシンの健康への悪影響は、急性中毒から免疫不全やがんのような長期にわたるものまで幅広い。
- ・WHO と国連食糧農業機関 FAO との共同の科学的専門家委員会(JECFA と呼ばれる)は、マイコトキシンを含む天然の毒素の健康リスクを評価する国際機関である。
- ・特定の食物からのマイコトキシンの曝露を制限する国際基準と行動規範は、JECFA の評価に基づきコーデックス委員会によって設けられている。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Mycotoxins

ファクトシート原文は [こちら](#)